



心のワクチン運動 モデル授業実施のご案内

コロナ禍で起きた実際の出来事を通して 差別や偏見について考える 「心の教育」を取り入れてみませんか？

「小さな親切」運動本部では、新型コロナウイルス感染症に関する間違っただけの情報、認識の違いがもたらす差別や偏見を、正しい知識と思いやりの心で乗り越えていこうと2021年に「心のワクチン」運動をスタート。その一環として、小学生向け道徳・学級活動の学習指導案を作成すると共に、今後の参考としていただけるモデル授業を展開しています。

教材に用いたのは、運動本部が主催する作文コンクールに寄せられた中学生の体験談です。授業を通して、コロナ禍の親切のあり方、相手の状況や気持ちをおもひにかかるとの大切さ、また差別や偏見について考えるきっかけとしてもらうことを目指しています。

希望をいただいた学校に、講師が直接伺って授業を行います。費用負担等は一切ございませんので、この機会にぜひ実施をご検討ください。

実施概要

対象：全国の小学生 全学年

講師：馬場喜久雄（全国小学校道徳教育研究会顧問）ほか

内容：道徳科（低学年～高学年）／学級活動（中・高学年）

教材：「コロナ禍で変化した親切」より

第45回「小さな親切」作文コンクール 文部科学大臣賞

制作：公益社団法人「小さな親切」運動本部

一般社団法人感染症対策コミュニケーションラボ

監修：馬場喜久雄（全国小学校道徳教育研究会顧問）



学級活動では「宣言カード」を活用

教材作文のあらすじ

新型コロナウイルス感染症が流行中のある日、中学生の女の子（筆者）が、図書館で赤ちゃん連れのお母さんとすれ違います。

そのとき、ベビーカーからおもちゃが落ちましたがお母さんは気づきません。女の子は、慌てて拾って届けてあげました。すると、お母さんにげん顔をされて…

このほか、夏休みに祖父宅に行かないことも描かれます。



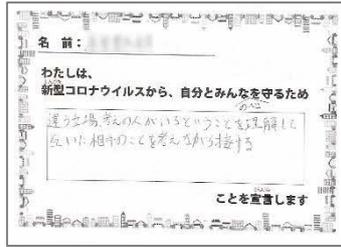
低学年には、分かりやすくイラスト教材を使います

これまでのモデル授業の様子、お問い合わせは裏面へ→

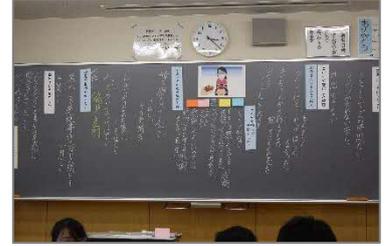
これまでに実施したモデル授業の様子



担任の先生が行った学級活動



実際の宣言カード（6年生）



授業後の板書（6年生・道徳）

【先生の声】

- ・ 授業後に、授業内容を振り返って感想を伝えに来る児童が多かった。普段はそうしたことがほとんどないので、子どもたちの心に響く授業だったのだと思う（担任／6年生道徳）
- ・ いつもは手を挙げて発言することが少ない児童が、率先して発言していたので驚いた。自分事として受け止めることで、理解がしやすかったのではないかと（担任／4年生道徳）
- ・ 日常生活で起こりうるものが題材になっているので、身近な場面から問題意識につなげるところがスムーズでよかった（担任／6年生学活）
- ・ 同じ教材を使用しても、教師の発問の仕方によって子どもたちの反応が変わるのがよかった。多面的・多角的な教材だと思う（道徳主任／3年生、6年生道徳）

心のワクチン運動とは

感染症の特徴や対策を正しく知り、親切や思いやりの心で互いに支え合って感染を予防する、それが「心のワクチン」。

（一社）感染症対策コミュニケーションラボの掲げるこの概念に共感した私たちが、誰もがができる感染症対策と一緒に展開していこうと始まったのが、「心のワクチン」運動です。一人ひとりが感染症のことをもう少しだけ知り、自ら考え、あたたかな気持ちで行動できるようになることを目指しています。

一般社団法人感染症対策コミュニケーションラボとは

「何をしなければならないか」ではなく「どうしてするのか」が大切！

新型コロナウイルスをはじめとする、感染症に関する基本的な知識と考え方を、一般の方々に分かりやすく広めようと設立された団体です。

どうしてするのかをみんなで知ることで、誤解や偏見をなくし、より効果的かつスマートな感染症対策を進められる社会づくりに取り組んでいます。

代表 危機管理広報コンサルタント 田崎陽典
アドバイザー 国際医療福祉大学医学部 教授 和田耕治

お問い合わせ、授業のお申込みは 地域の「小さな親切」運動事務局または

公益社団法人「小さな親切」運動本部 青少年すこやか係

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-20-4
TEL 03-3263-2866 FAX 03-3263-3838
メール skm1963@kindness.jp
URL <https://www.kindness.jp/>